

# 函館高専@新聞

平成26年度  
第62号

発行責任者  
藤野 日和

記者

- 松下 智紀
- 鈴木 涼
- 黒川 佳奈
- 大船 実月
- 古川 はる奈
- 姫路 達哉
- 吉本 晃大
- 花田 理
- 滝野澤 朱里

函館高専  
学生会新聞局

## 新入生歓迎会開催

4月24日木曜日、第2体育館にて今年も新入生歓迎会が行われた。今年も多数の部活動や愛好会が参加し、さまざまなパフォーマンスで会場を盛り上げた。

### 先生方の感想

先生方に歓迎会で印象に残った部活について取材した。



→ From noon till dawn を演奏する軽音楽部

多くの先生が「剣道部」や「ダンス愛好会」、「ロボット研究会」、「応援団」、「ラクビー部」がとても印象に残ったと答え、これらのクラブ・愛好会は好印象だったことがうかがわれる。一方で本村学生主事からの注意が目立ったせいか、そういったクラブ・愛好会に対して「練習内容の紹介や入部後に掛かる費用の説明などを部活の内容をしつかり伝えた方が良いのではないか」「ただしやるだけでなく実演した方が興味を持てるのではないか」「受け狙いではなく、活動内容で新入生の興味を引き付けるべき」「高専生としての自覚を持つべき」という意見も見られた。(姫路・吉本)

### 発表者の思い

今年の新歓も会場がとても盛り上がりつつあったように感じた。逃走中をテーマにした陸上部では、2年生産システム工学科2組横田さんは「ルイ君の声真似が一番の見どころ」と言っていた。将棋部の4年物質工学科吉田さんは「君の心に王手！」のときの振り付けを間違えたことが心残りだと話す。剣道部は竹刀で風船を割るという剣道らしい発表をした。竹刀で風船を割るのは剣道を練習していないと難しいそうだ。



← 高評価のダンス愛好会

### 学生の感想

新入生代表の1年3組3上維月さんに話を聞いた。

新入生歓迎会の感想は、和気あいあいとしていてよい雰囲気だった。一番印象に残った部活は野球部だったとのことだ。また1年生代表を務められてよかったと話していた。最後に、学校が始まって約3週間ほどだが、学校になじめたかを聞いてみると、先輩方がすごく優しく不安はないと答えてくれた。(鈴木)

### 今後の課題

新歓の舞台で野球部とテニス部の発表が途中で本村学生主事に止められた。野球部は出場申請しておらず、新歓についての会議が行われていることすら知らなかったと話す。一方、テニス部は出場内容の申請をしていたにも関わらず発表途中で止められたことに対して少なからずの不満を抱えているようだった。今回の発表中止について、学生会長と本村学生主事に話を伺った。

学生会長にインタビューしたところ、今回の野球部の発表に対しては、「例年通りと言えば例年通りだったが、度が過ぎた表現もあった」と語っていた。今年度から新しく新入生歓迎会での発表内容を会議を開き事前に報告する形をとったが、報告内容が大幅に過ぎた面もあり、来年度からは今回のような不祥事をおこさない為詳しく行っていく方針を固めている。「楽しんでやることばかりを考え過ぎて不祥事を起こしてしまったり元も子もない。不祥事を起こさないことを目標に一つ一つ行事を運営していきたい」と意気込みを語っていた。

一人でも不快な思いをすることはしてはいけない。」と語った。学生会との連携不足も今回の不祥事の原因の一つで、今後は学生たちの中で価値観を高めて判断できるような指導をしていきたいとのこと。また、「各部活の発表企画書へ目は通したくない。学生自身が作り上げていくものだから。学生たちにモラルのレベルアップをしてほしい」とも語った。

### 編集後記

いつの間にか3年生になり局長になりました。新入生歓迎会は気合いを入れて全身と紫で出ましたが未だ新入部員0人です。(藤野)

就職活動が終わり、部活動に本腰を入れられるようになりました。残り1年楽しい新聞を書いています。(松下)